

UCF (Usines CLAAS France) メッツ・ヴォワピー工場が打ち立てた金字塔

CLAAS、可変チャンバー式ロールベラー誕生30周年を記念し、 特別仕様のアニバーサリーモデルを発表

メッツ・ヴォワピー／ハーゼヴィンケル、2026年10月13日 – CLAASは、ベラーの開発・製造開始から95周年、またフランス・メッツ＝ヴォワピー工場での生産開始から65周年という大きな節目を迎えました。

1996年、CLAASは自社開発による可変ベールチャンバーを搭載した初のロールベラー「VARIANT 100シリーズ」を市場に投入しました。以来、「VARIANT」の名称は受け継がれ、現在では第5世代へと進化。さらに2025年に投入された「CEREX」シリーズとともに、同社のロールベラーラインアップを支える中核ブランドとして高い評価を獲得しています。

このたびCLAASは、可変チャンバー式ロールベラー「VARIANT」シリーズの誕生30周年を記念し、特別仕様のアニバーサリーモデル2機種を発売することを発表しました。



CLAASは、メッツ・ヴォワピー工場で生産される可変チャンバー式ロールベラーの30周年を記念し、特別なアニバーサリーデザインを採用した「CEREX」と「VARIANT」の記念モデルを発売します。

アニバーサリーデザインには、異なる直径のロールベールをモチーフにして「30」の数字を表現したグラフィックを採用。これは、ベール径を自在に調整できる可変ベールチャンバーの技術コンセプトを象徴するデザインとなっています。

ベラーは、CLAAS の企業 DNA に深く根付いた製品です。今から 95 年前、同社は初の量産型ベラー「PRESS-BU-BI」の生産を開始しました。また、その 10 年前には、後に CLAAS を代表する技術となる「ノッターフック（結束装置）」の特許を取得。この技術は当初、ストローバインダーに採用され、その後ストローベラーへと展開されました。現在までに、CLAAS は世界で 40 万台を超えるベラーを製造・販売しています。

CLAAS のベラーは長年にわたりドイツ・ハーゼヴィンケル本社で開発・生産されていましたが、1958 年にはフランス・ロレーヌ地方（現グラン・テスト地域圏）のメッツ・ヴォワピーに専用工場を設立しました。これはドイツ国外に設立された初の CLAAS 生産拠点であり、ヘルムート・クラス氏が創設した最初の工場でもあります。1961 年には同工場で初の CLAAS 製ベラーの生産が開始され、さらに 1994 年には開発機能もハーゼヴィンケルからメッツへ移管されました。

VARIANT 第 5 世代と新型 CEREX：可変チャンバー式ロールベラー30 年の進化と革新

CLAAS は、1978 年に固定チャンバー式ロールベラー「ROLLANT」、1983 年に画期的なネット結束システム「ROLLATEX」を投入した後、1996 年に初の自社開発による可変チャンバー式ロールベラー「VARIANT 100 シリーズ」を市場へ投入しました。それ以前は、「VARIANT 16」と呼ばれる OEM モデルによって同セグメントを展開していました。

VARIANT シリーズの大きな革新のひとつが、ローターによるアクティブベールスタートベール成形システムです。これにより、厳しい作業条件下でも信頼性の高いベール形成スタートを実現し、高密度なベール作りを可能にしました。また、油圧式ソフトコア機能を搭載し、必要に応じてヘイなどの作物の後乾燥にも対応。さらに、当時の市場で最も広い 2.10m のピックアップ幅を備えていました。

その後 30 年にわたり、VARIANT は数々の革新的技術を通じて業界をリードしてきました。自動結束開始機能、油圧下降式 PRO カットイングフロア、360 度ローター、ベール端部までカバーする XW エッジカバーネット結束、SMART DENSITY、MULTIFLOW HD ピックアップなどは、その代表例です。

さらに 2025 年には、完全新設計の「CEREX 700」を投入。処理能力とベール密度をさらに向上させる一方で、必要動力の最適化も実現し、CLAAS の可変チャンバー式ロールベラーラインアップを一段と強化しました。

CLAAS グループ CTO（最高技術責任者）のマルティン・フォン・ホイニンゲン＝ヒューネ博士は、次のように述べています。

「ベラーは当社を支える最も重要な事業基盤のひとつです。私たちはこれまでに 3 万台の可変チャンバー式ロールベラーを生産してきましたが、その大半を VARIANT シリーズが占めています。現在の CEREX 700 と VARIANT 500 からなるラインアップは、この豊富な経験の上に築かれています。これこそが、CLAAS 史上最も充実した可変チャンバー式ロールベラー製品群です。」

メッツ・ヴォワピーとハーゼヴィンケルに記念モデルを展示

30 周年を記念して、Usines CLAAS France では特別仕様の CEREX と VARIANT をそれぞれ 1 台ずつ製作しました。

両モデルは、初代および第 2 世代モデルである「VARIANT 100」と「VARIANT 200」を想起させるクリームホワイトのサイドパネルを採用。そこにシードグリーンカラーの大型「30 Years」ロゴをあしらい、特別仕様ならではの存在感を演出しています。

ロゴに描かれた「30」の数字は、直径の異なる3つのロールバールをモチーフに構成されており、周年記念のテーマと可変チャンバー技術を象徴的に表現しています。

完成した2台の記念モデルのうち、1台は今後1年間、メッツ・ヴォワピーのビジターセンターに展示され、もう1台はハーゼヴィンケルのテクノパークにおけるシンボル展示機として活用される予定です。



30周年記念モデルのうち1台は、Usines CLAAS France (UCF) のメッツ・ヴォワピー工場にあるビジターセンターで展示され、もう1台はドイツ・ハーゼヴィンケル本社テクノパークに展示されています。また、2027年モデルイヤーのすべてのCEREXおよびVARIANTシリーズには、サイドパネルとテールゲートに30周年記念デカルを装着。

30周年を記念した特別オファーを展開

2026年10月から12カ月間メッツ工場生産されるすべてのVARIANTおよびCEREXモデルには、サイドパネルとテールゲートに30周年記念ステッカーが装着され、アニバーサリーモデルであることを示します。

CLAAS 可変チャンバー式ロールベラー30年の歩み

1996年：VARIANT 100

可変バールチャンバーを備えた、CLAAS 初の本格可変式ロールベラー

- VARIANT 180 および VARIANT 160 を設定（最大バール径 1.80m）
- ローターによるアクティブ駆動バール形成方式を採用し、バールを逆方向に回転させることで、あらゆる条件下で信頼性の高いバール形成を実現
- ROTO CUT カuttingユニットを採用
- ROLLATEX ネット結束システムを搭載



2002 年：VARIANT 200

高い処理能力と自動化を実現した第 2 世代モデル

- VARIANT 260 および VARIANT 280 をラインアップ
- ROTO CUT カuttingユニット
- 5 本のエンドレスベルトによるバールチャンバー
- 新型操作ターミナルを採用
- 自動結束開始機能を搭載
- ゴムコーティング仕様の新型スターターローラーおよびガイドローラーを採用



2007 年：VARIANT 300

処理能力と快適性を大幅に向上させた新世代モデル

- VARIANT 360 および VARIANT 380 を発売
- 新たな「5 シリーズ」として VARIANT 365 および VARIANT 385 を追加
- 2008 年には VARIANT 350 および VARIANT 370 を追加投入
- NEW: ソフトコア設定をトラクターキャブ内から調整可能
- NEW: COMMUNICATOR ターミナルを採用

- NEW: ダブルテンションアームを搭載
- NEW: 360°ローターを採用
- NEW: 油圧降下式 PRO カットイングフロアを新設定
- NEW: 回転数を 25%低減し、必要動力を削減（DLG 試験実証済み）



2017 年：VARIANT 400

多様な用途に対応する幅広いモデル展開

- VARIANT 465 および VARIANT 485
- VARIANT 460 および VARIANT 480
- VARIANT 450 および VARIANT 470
- VARIANT 465 および 485 に PRO カットイングフロアを採用
- NEW: 4 本エンドレスベルト方式を採用
- NEW: 最高速度 50km/h 対応アクスルを設定



2023 年：VARIANT 500

さらなる高性能化と新デザインを実現

- VARIANT 560 および VARIANT 580
- VARIANT 565 および VARIANT 585
- 新世代 Y デザインを採用
- 4 本エンドレスベルト方式
- ROTO CUT または ROTO FEED
- MULTIFLOW および MULTIFLOW HD ピックアップ
- VARIANT 565 および 585 に PRO カットングフロアを装備
- 最大 22.5 インチのワイドタイヤに対応し、高い土壌保護性能を実現



2025 年：CEREX 700

高い処理能力とバール密度、優れた土壌保護性能を追求

- CEREX 780 および CEREX 760
- 高処理量と高密度バール形成を実現する専用設計
- 2 本エンドレスベルト方式
- オプション 25 枚ナイフ仕様の ROTO CUT カットングユニットを搭載
- PRO カットングフロアを採用
- MULTIFLOW HD ピックアップを装備
- 1,000rpm 駆動仕様



高解像度の画像をダウンロードしてご利用いただけます(リンク先は英語):

<https://dam.claas.com/pinaccess/showpin.do?pinCode=oJltFQ4DgX2g>

メッツ=ヴォワピー工場の歩みを画像でご覧いただけます(リンク先は英語):

[30 Years Variable Round Balers from CLAAS](#)

ジャーナリストの皆様へのお願い

本プレスリリースは国際向けに作成されています。製品ラインアップや装備仕様は国や地域によって異なる場合があります。ご不明な点がございましたら、お住まいの国・地域の CLAAS 販売会社または CLAAS 輸入代理店までお問い合わせください。

CLAAS について

CLAAS（クラス）は 1913 年に創業した家族経営の農業機械メーカーであり、世界有数の農業機械メーカーの一つです。本社はドイツ・ノルトライン＝ヴェストファーレン州ハーゼヴィンケルに置かれています。

同社はフォレージハーベスターの世界市場をリードするメーカーであるとともに、主要事業の一つであるコンバインハーベスター分野においても欧州市場でトップシェアを誇っています。また、トラクター、ベラー、飼料収穫機の分野においても、世界の農業機械市場を代表するメーカーの一社として高い評価を得ています。

さらに、CLAAS は最新の農業情報技術（スマートファームングソリューション）も提供しており、農業現場の効率化と生産性向上を支援しています。

世界で約 11,500 人の従業員を擁する CLAAS グループは、2025 事業年度において 49 億ユーロの売上高を達成しました。